

2004
Guide Book



Niigata College of Nursing



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

Niigata College of Nursing

新潟県立看護大学の建学の精神
ゆうゆう・くらしづくり

- ◆ 地域とともに発展する大学
- ◆ ヘルスケアに携わる関係者の生涯学習への期待に応える大学
- ◆ 県民のくらしづくりに貢献する大学
- ◆ 独自性をもってゆうゆうと、看護学教育・研究に邁進する大学

新潟県立看護大学の Mission (使命と任務)
地域文化に根ざした看護科学の考究

- ◆ 風土と文化の多様性の上に成り立つ社会・経済の構図、及び人々のヘルスケア授受の振る舞い行動に関すること
- ◆ 個人・地域・国際社会各々の文化に根ざしたヘルスケアの質の向上に関すること

新潟県立看護大学 学長
中島紀恵子



新 潟県立看護大学は2002年4月に発足しました。本学は、北に日本海、南に妙高山群、西に関川と素晴らしい自然環境に囲まれるとともに、最新の教育・研究施設設備をもっており、開かれた大学として「地域文化に根ざした看護科学の考究」を使命としております。この実現のために、学生間、大学間、地域間の連携と交流を積極的に進めます。



校章に込められた思い
Niigata College of NursingのNiigataの「N」、Nursingの「N」と新潟県の県花「チューリップ」とを合わせイメージした。赤の「円」は燦然と輝く希望の太陽とみなぎる活力を、「N」は手に手をつなぐ看護の人・もの・情報の発信と保健・医療・福祉の総合的視野に拓く創造性を表現し、これは又、21世紀をリードする新潟県立看護大学が力強く飛翔発展する雄姿を象徴しています。

21 世紀の「医療と看護」はもっとも注目される分野です。一人の人間としてより良く生きるために、また、医療サービスを受ける事態になったときのケアの品質の保障が国民の皆さんの最も望んでいることだからです。人々は安全で安心できる療養環境、そしてケアにかかわる医療・看護従事者の専門知識・技術に裏打ちされた優しさや、わかりやすい説明がなされるヘルスケアサービスの向上を求めています。

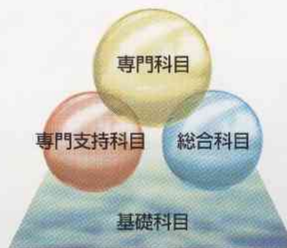
新 潟県立看護大学は、看護師、保健師、助産師をめざす学生に看護学の基礎を学んでもらう道場ともいえる「学舎」です。これまで看護は「看護婦」という名称が示すとおり、長い間女性の職業とみなされてきました。しかし、「看護」は本来、男女を問わず魅力的な職業です。自分の職業や分野固有の専門性に誇りをもってケアに専心し、研究心をもって生涯学習する看護師・保健師・助産師を育成します。

本 学は人間科学や実践科学の学習により、幅広い視野と豊かな人間性を培い、対人交流に不可欠な表現技術能力を養います。そのために1年次から少人数の基礎ゼミナールを通して、興味をもった課題に取り組みます。また、地域社会で暮らす人々との交流や、看護技術演習や臨地実習によって「知識・技術・哲学」の一体化を目指します。1年次の「ふれあい実習」の体験では、地域の中で専門家として働く意味を考えることがねらいです。年次進行とともに逐次人間の健康の成り立ちや病態のメカニズムを学びつつ、看護の専門知識・技術を学んでゆきます。授業では演習を通して臨床場面を想定した看護技術の習得と応用を学びます。この中では、特に看護を提供する側の考えだけでなく、受ける側がどのような看護を求めているのかを想起できる「臨床能力」が身につくことを大切に教授します。3年次からは、本格的な臨地実習が始まります。4年次には、各自が希望する場所での総合実習、専門ゼミナールを経て卒業論文を作成することになります。本学独自のカリキュラムを通して、バランスのとれた人間性豊かな看護人材が巣立っていくことを願っております。皆様の入学を心からお待ちしています。

Curriculum



現代社会の看護に対するニーズは疾病の予防、健康保持から社会復帰、ターミナルケアに至るまで広範囲にわたっています。こうしたニーズに応えられるよう、新潟県立看護大学では知識・技術を備え持ち、人が何を感じ、何を望んでいるのか考え、受け止めることのできる優れた人材を育成します。



「人間」を理解することからはじめ、私たちをとりまく様々な生活環境から影響される健康を、看護の視点から学んでいきます。

履修年次別授業科目

科目群	履修年次	1 年 次					2 年 次	
基礎科目	人間と文化	哲学	心理学	社会学	教育学	文化人類学	法学	
	人間と自然	生物学	化学	環境生態学				
	英語	英語表現法I(会話)	英語表現法I(読解)	英語表現法I(記述)	英語表現法II(会話)	英語表現法II(読解)		
	スポーツ	健康スポーツ学						
	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール						
専門支持科目	人間と生活	地域経済論		行政法			地域福祉社会論 保健・医療行動科学	医事法
	人間と情報	情報科学		情報処理演習				
	看護の基礎	形態機能学I 微生物学	形態機能学II	臨床生化学	臨床病理学I	臨床栄養学 臨床病理学II	臨床薬理学 社会保障論 保健福祉・住民組織論	
専門科目	基礎看護学	看護倫理 基礎看護学実習I	看護科学史	国際看護活動論 ふれあい実習	在宅ケア論			
	実践基礎看護学			看護技術論 基礎看護技術演習I		基礎看護技術演習II	基礎看護学実習II	
	成人看護学					成人看護学I	成人看護学II	
	母性看護学					母性看護学I	母性看護学II	
	助産看護学							
	小児看護学					小児看護学I	小児看護学II	
	老年看護学					老年看護学I	老年看護学II	
	精神看護学					精神看護学I	精神看護学II	
	地域看護学					地域看護学I	地域看護学II	
	看護研究							
総合科目	総合	総合科目I						



看護大学が目指すこと

いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。

看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。

あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。

深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。

看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。

保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。

コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。

多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。

グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。

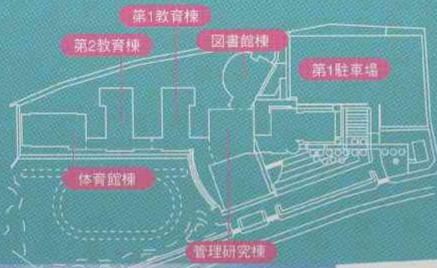
地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。

	3年次		4年次		
			宗教学		
英語表現法Ⅱ(記述)					
公衆衛生学・疫学	保健統計演習 保健医療福祉行政・政策論				看護行政論 看護管理
	成人看護学演習Ⅰ 成人看護学演習Ⅱ 新生児看護論 母性看護学演習	成人看護学実習 母性看護学実習			
	小児看護学演習 老年看護学演習 精神看護学演習 地域看護学Ⅲ 地域看護学演習	小児看護学実習 老年看護学実習 精神看護学実習	助産学Ⅰ 助産学Ⅱ(選択)		助産実習(選択)
			地域看護学実習		
			専門ゼミナール	専門実習	卒論研究
					総合科目Ⅱ

CAMPUS LIFE

豊かな自然とあたたかい人に囲まれて、
貴重な学生生活を送ることができるキャンパスです。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた「上越市」。本学は、桜の名所として知られる高田公園も近く、城下町としての歴史や文化にふれる絶好のロケーションに位置しています。充実したキャンパスライフの拠点として、看護のプロを目指すにふさわしい環境がここにあります。



VOICE

佐藤 泰宏

1年生 新潟県出身

この大学は、僕が目指す『QOL』（クオリティ・オブ・ライフ）が十分に学べる場所。これからの病院は、ただ病気を治すだけではなく、患者さんが快適に生活出来る空間であるべきだと僕は思っているんです。

そういった意味でも、この大学では一人ひとりの考えを実習やゼミなどで、十分に実践、学習していくことが出来ます。

将来は、ボーイスカウトで培った精神で、どんな患者さんにも分け隔てなく接することの出来る看護のスペシャリストになりたいです。またこの大学は、学生達が自由に企画運営出来るサークル活動も盛んで、僕は「手話」「バスケ」「スノーボード」「フットサル」に参加しています。友達もたくさん出来て、今はとても充実した毎日です。



2002年4月開学に併せて、保健・医療・福祉の向上を目的に、看護研究交流センターを設置しています。



県立中央病院

高度・先進的な診療機能を有する県内最大級（528床）の病院です。大学に隣接しており、基幹実習施設となります。

興味がどんどん
広がってゆく感じ。
ここに来て良かった。

岩元 小麻紀

1年生 愛知県出身

将来の夢は、貧しくて医療を受けることが出来ない国々で看護師として働く事。そんな活動を知り、私もぜひ参加して見たいと思うようになりました。中学生の時、交換留学で中国に行ったのですが、日本とはあまりに違う光景に、改めて医療って大事ななあと思いました。

この大学に入学して良かったのは、自分の興味がとても広がったこと。幼稚園実習に行った時、乳幼児を担当したのですが、赤ちゃんは言葉が話せないので、容態の変化がわからず、とても難しかったです。また、微生物の知識も先生方に面白く教えて頂けるので今はすごく興味があります。

これからは、外国語なども勉強して夢が実現するように頑張っていきたいと思います。

授業環境・施設



ホール

講義時には2つの講義室として使用されます。また、研究発表会や式典にも利用することができ、プラズマディスプレイ等最新の視聴覚器材が整備されています。



情報科学教室

パーソナルコンピュータ56台を使用し、文書作成、表計算、データベースの検索、作成等についての演習を行います。



合同講義室

全109席で100インチのビデオプロジェクターや資料提示装置を完備しています。

独り暮らしの僕の部屋、
いつも仲間でいっぱい。



いつも笑顔に満ちている学内。
目標を共有する仲間たちと感動を体験。

4月に入学したかと思うと瞬く間に月日が過ぎてしまう学生生活。貴重な時間をいかに有効に使うかが将来の夢を実現するカギとなります。期待を胸に、さあキャンパスライフのスタートです。



球技大会では、燃えました！
いろいろな行事も今から楽しみ。

VOICE

岡田 瑠美子 1年生 島根県出身

私は、小学生の時入院した経験があります。その時の看護師さんの姿を見て、この道へ進もうと思うようになりました。もちろん、近くにも看護の学校はありましたが、最先端の技術や、充実した設備があり、環境が良いという理由で、この大学を選びました。

初めての独り暮らしで、不安がいっぱいでしたが、そんなこともふっとんでしまうくらい、先輩も同級生もフレンドリーであたたかくて、ここに来て本当に良かったなあと思います。授業も、今は基礎知識を学んでいますが、経験豊富な先生方のお話はとても面白いです。私は、老人医療や介護に興味があるので、実習などは今から楽しみにしています。

将来は、島根の老人ホームや施設でお年寄りのために働けたらと思います。

レセプションホール

3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建物構造を活かした演奏会などにも利用できます。



入学式

年間カレンダー

4 入学式
前期授業開始 (2年生)
前期授業開始 (1年生)

5 開学記念日5月8日

6 球技大会

基礎看護学実習Ⅰ

7 夏季休業

8

9

10 後期授業開始

ふれあい実習

基礎看護学実習Ⅱ

11 大学祭 (桜蓮祭)

12

1

2

3

春季休業



球技大会



桜蓮祭

11月に行われる自治会主催の大学祭です。



ふれあい実習

看護の対象である「生活者」とその生活が展開される場である「地域」の理解を深める学習を目的とします。



基礎ゼミナール

1年次に開講される少人数ゼミナールで、看護を科学的に追求するための知的探求方法を身につけることを目的とします。



総合科目

「人間関係と表現への気づき」のひとつコマ。他者に働きかけ、関わりを作り出していく力に目覚めることを目標とします。

看護学部看護学科

科目群の解説

基礎科目

基礎科目は、豊かな人間性と総合的な判断力を養うことが目的です。「人間と文化」「人間と自然」「英語」「スポーツ」の4つの科目群と、いろいろなテーマを討論を中心として探究する「基礎ゼミナール」からなっています。

入学後、すぐに基礎ゼミナールが始まります。そこで、教員や友人たちと新たに出会い、文献検索、レポートの作成や討論の方法などの知的探求術を身につけることになります。学問する楽しさを存分に味わって下さい。

専門支持科目

環境との相互作用の中で生じる人間の健康現象を深く理解し、看護活動の判断を支える科目で、以下の3つの科目群から構成されます。専門科目を学ぶために必須の知識となります。

「人間と生活」— 人間生活や社会の仕組みを学びます。

「人間と情報」— 看護実践や研究にとって必須となっている情報処理技術を習得します。

「看護の基礎」— 人間の身体と病態・疾病に関する科目、人間集団の保健・予防活動に関する科目、保健医療福祉を支える社会的システムに関する科目で構成されています。



講師 英語担当
山本 淳子

M

E 1年次、2年次に、英語表現法という英語によるコミュニケーション能力をつけるための科目があります。この科目は会話、読解、記述に分かれています。看護の場においても、十分対応できるようにカリキュラムが組まれています。この機会を十分に利用して、皆さんの表現力、読解力に磨きをかけてください。

英語はコミュニケーションの手段です。文法・語彙学習なども大切ですが、さらに重要なことは、メッセージを「伝えよう」、「聞き取ろう」、「読み取ろう」という意欲でしょう。間違いを恐れることなく、積極的に質問してください。また、継続は力なり、といいますが、大学生活を通じて常に英語に接してほしいと願います。国際化・情報化が進んだ現代社会においては、様々な場面で英語力が必要になってきます。目標を高くかけ、国際社会で活躍できる看護師を目指してください。



教授
臨床病理学I、II担当
吉山 直樹

M

E 私の担当する臨床病理学は、20科目ある「専門支持科目」の一つで医学の分野では疾病（病気）の成り立ちを探求する学問です。

A 現代医学は、分子遺伝学をはじめダイナミックに変化・進歩していますが、いっぽうでは社会や家庭での問題は人類の歴史の継続課題として残り、その内容はますます先鋭化しています。このような時代であればこそ、生きものとしての人間の「ひ弱さ」を心身両面から理解することが、暖かい心と正確な疾病に対する知識・技術をもった看護師を誕生させるために重要な学習要件となっています。

1年生後期から2年生前期にかけておこなう臨床病理学の講義は、これらの目的の中核となる領域を学ぶ科目です。初めて疾病の概念に接する学生が、より深い理解と効率的な学習方法を会得できるよう、準備を重ねております。

看護学を志す皆様、共に楽しみながら学びましょう。

専門科目

看護の基礎を学びます

基礎看護学講座では、看護の基盤となる理論を多角的な観点から学ぶとともに、地域で生活する多くの人々との交流を通して看護とは何かを考えていきます。

看護倫理では、現代の医療現場で注目されている「患者の自己決定」「インフォームドコンセント」などのキーワードを取り上げ、看護における倫理的問題を学び、看護科学史では、看護科学の歴史について学びます。その他、在宅ケア論、看護行政論、国際看護活動論などを通して、個人だけではなく、地域・福祉・行政及び国際的な視点のもとに看護学の基礎を学んでいきます。

また、保育園や小学校、ねんりんピック等での見学・実習を通して健康な子どもたちや高齢者の生活を知る「基礎看護学実習Ⅰ」、県内の様々な市町村でのホームステイや地域活動への参加を通して、地域に住む人々と交流し、その生活を考える「ふれあい実習」といった、豊かな人間性を育てる体験学習としての看護学基盤実習も行います。

基礎看護学

私が、看護の道に進もうと思ったのは、高校2年の頃、父がふと「看護学校もいいなあ」とつぶやいたのがそもそものきっかけで、看護や医学に関する本を読んでみました。その結果、自分を人間の生死の近くに置いてみたくまりました。人間の本質的な深い真実に触れることができるような気がしたのです。そして看護大学を受験し、卒業して30年近くが経ちました。看護には様々な活動領域があります。私は、病院（臨床）・教育・行政（国と県）と3つの領域を経験しましたが、どこでも“看護”を行ってきたつもりです。一人のかけがえない人の個別のケアも、人々（地域や社会）が健康にくらすこと、病んでも幸せにくらすための社会の仕組みづくりも、人間の健康とくらしをどのようにして支えるかという学問と技術を基盤に、それを実現しようとするにかわりはなかったと思っています。今度は、大学という場で、人類の英知の大河に面と向き合いながら、学生と共に成長してゆきたいと願っています。

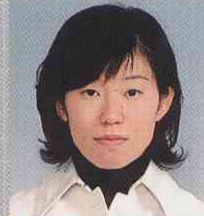
M

E
S
S
A
G
E

助教授

中川 泉

実践基礎看護学

助手
籠 玲子

MESSAGE

皆さんは看護師にどのようなイメージをもっていますか？私は、小さい頃、“看護師は優しい人”というイメージをもっていました。私が看護に興味をもったきっかけの1つは、“優しさって何だろう”という問いでした。人との関わりの中で、その人のためにとっと思っ何かをすること、それが優しさなのでしょう。それがその人にとってどういう意味をもつか、本当にそのことは“その人を思っ”ているのか、自己満足になっていないだろうか。人は人に何ができるのだろうか？看護の実践は、それを追究して成されるものです。先人が歴史の中で紡いだ“その人への思い”が今の看護を生み出しています。それを土台に、今日前に存在するその人へ看護の実践を行います。看護の実践に正誤はありません。そこに看護の難しさとその人の思いに添えたときの感動があります。真の“優しさ”とは何かの答えをその中に垣間見ることができるのでは、という思いが、看護を深めたいという思いに繋がりました。

その人のためとは、どういうことか。それを追究して、看護の実践を深めていけることを願っています。

看護技術を「科学」します

看護師は、看護の対象となる人々が安全・安楽に生活を送れるよう、療養生活上で様々な看護技術を実践しています。実践基礎看護学では、これらの看護の技術を科学的に検証しながら、看護技術の向上をめざします。

「看護技術論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」は、看護の対象に看護援助を実施する意味や専門技術習得の必要性を考えるとともに、講義と演習を組み合わせ、清潔・食事・排泄や注射・採血などの生活援助技術・診療補助技術の科学的根拠について考えながら、看護の対象を理解した上での個々の技術を習得していきます。また、看護の対象を理解していくために必要なコミュニケーション技術や、看護の対象の健康状態などの情報収集をもとに看護計画を立案する過程で必要となる、系統的な思考方法とヘルスアセスメント技術の基礎を学びます。

「基礎看護学実習Ⅱ」では、病院実習を通して実際の看護活動に触れ、習得した看護技術を用いて、看護の対象の個々にあった日常生活援助を実践する能力を養います。

成人看護学Ⅰ(慢性期)

「セルフケア」を高める看護

成人看護学Ⅰ(慢性期)では、成人期の患者を対象に、主に、慢性的な健康障害をきたした人への看護援助を学んでいきます。

具体的には、糖尿病などの慢性病をもつ人が、自ら生活の調整をしながら良好な健康状態を維持していく力を高める「セルフケア」の観点から看護援助を考えると共に、術後患者や脳血管障害の後遺症をもつ人に行われるリハビリテーション看護、末期がん等により死を免れ得ない患者へのターミナルケアなど、生活の質(Quality of Life)を重視した看護援助について考えていきます。

演習では慢性期の事例の看護過程展開を通して、食事指導などの教育的アプローチ、リハビリテーションの実際、ターミナルケアにおける看護技術を習得し、実習では病棟で実際に慢性病をもつ成人の患者を受け持ち、看護援助を実践する他、リハビリテーション室での見学実習を行います。



教授
加藤 光賢

M E S S A G E

成人看護学Ⅰでは、慢性期の看護を学びます。看護の対象は、成人期にある患者です。もちろん、その家族も対象となります。看護能力は、講義・演習・臨床実習によって形成します。講義によって得た知識を、演習の技術へとつなげ、臨床実習によって、知識・技術・態度へと統合していきます。

学内演習での学びは「楽しくなければ演習ではない」という状況の元で展開していきます。できるだけ臨場感を縦系に、シンキング、アセスメント、コミュニケーションを横系に、臨床場面をシミュレーションして構成します。

臨床実習では、患者展開のツール「看護過程」を用いて、対象の健康の回復—保持—増進の援助をします。ここでは、生活者である地域の人々に対して、身体的・心理的・社会的側面からの質の高い看護の提供が目標になります。



教授
深澤 佳代子

M

E S S A G E

成人看護学は非常に幅広い年齢層の患者を対象としています。患者の殆どは社会活動の中でも重要な役割を担う方たちです。急性期成人看護学では、救命救急やインテンスブケアなど生命が危機にさらされた状況下での看護ケアについて学びます。急性期には患者に対して救急蘇生や緊急手術など治療の要素の占める割合が大きいですが、そういう中でこそ、的確な判断の元に患者の看護ができる力を求められます。根拠に基づいたアセスメント能力、自分で判断できる力、危機的状況にある患者あるいは家族のケアができる力を身につけることをねらいに置いています。特に、学生が興味深く学べるよう、患者の社会活動や家族背景を考慮した演習を組んでいますので御期待下さい。

成人看護学Ⅱ(急性期)

急性期、緊急時の判断能力を養いましょう

救命救急・集中治療が必要とされる医療の現場では、確実な知識と技術、そして判断能力に基づいた急性期看護が必要とされます。成人看護学Ⅱ(急性期)では、成人期の患者とその家族を対象に、健康状態が急激に変化している人、生命が危機にさらされた状況の人、手術を受ける人への看護援助を学んでいきます。

具体的には、心筋梗塞や脳血管障害などにより救命救急・集中治療が必要な患者や、ICU(集中治療室)やCCU(心臓集中治療室)といった急性期看護を行う場の特徴とその看護、そして手術を受ける患者の術前・術後の看護などを学びます。

また、演習では、意識障害などの急性期にある患者の事例を通して理解を深めるとともに、モデル人形を使った救急蘇生や呼吸訓練などの急性期看護に必要な看護技術を習得します。実習では、実際に周手術期にある患者を受け持ち、看護援助を実践する他、救命救急センター、手術室でも見学実習を行います。

母性看護学

MESSAGE

母性看護学は、この世に生まれ、育てられ、大人へと成長し、子どもを産み育てる、子どもを成人させた母親など、女性の一生に関わる看護の領域です。

母親になる過程では、家庭環境、教育環境や結婚環境などさまざまな影響を受けます。どのような環境が親になるには重要なのでしょうか？

母性看護学を学ぶことは、命の意味を考え、自分がこの世に生まれてきた意義を考えるととても大切な機会です。

女性の健康を、性と生殖を中心に関連分野からの広い視点からとも考え、看護を学びましょう。



教授
加城 貴美子

生涯にわたる女性の健康について学びます

母性看護学は、母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱ、新生児看護論、母性看護学演習と母性看護学実習で構成されています。講義と演習は2年生前期から3年生前期に開講され、実習は3年生前期に行われます。

母性看護は、女性のライフサイクルの中で特に生殖機能とそれに関わることを学びます。具体的には、日本をはじめ世界各国の母性看護の歴史とその活動について学び、今後の母性看護のあり方について考えます。また思春期の女性と男性について、妊婦と胎児、お産をする女性、お産後の女性とその新生児、それを支える父親とその家族、更年期におこる種々の症状などについて、解剖学や生理学の学びの上に健康増進のための援助や病気になる女性への看護を学びます。

助産看護学



助手
西方 真弓

MESSAGE

“お産”について専門的に学びます

助産学は、選択科目で助産学Ⅰ、助産学Ⅱと助産学実習で構成されており、4年生前期から後期に開講される自由選択科目です。

助産学は、看護の基礎教育の上に、さらに妊婦と胎児、お産をする女性と新生児、それを支える父親とその家族を中心に、より専門的に学びます。助産婦の国家試験に合格すると助産婦として、妊娠中の援助やお産の介助、お産後の健康増進のための技術や援助、地域における母子保健活動の一環として開業しての援助活動もできます。助産学の魅力は、新しく家族（新生児）を迎える援助を通しての関わりの中で、特に正常なお産を10例介助する感激は素晴らしいものです。

近年の周産期学、生殖医療技術の進歩は著しいですが、女性の妊娠・出産・育児を行っていくプロセスは太古の時代から変わらず続いています。

女性にとって妊娠期間の280日間は、身体・心理・社会的な変化がみられ、また女性のパートナーやその家族にとっても大きな役割の変化の時期でもあります。また、この世に生まれてきたばかりの赤ちゃんは、何もできないようにみえますが、実は、物も見え、耳も聞こえ、お母さんのおっぱいのおいさを嗅ぎ分けられる能力を持っています。胎児のときから、おっぱいを飲む練習をし、生まれてきてからおっぱいをゴクゴク飲む姿、時間ごとに赤ちゃんが成長していく姿は、目を見張るものがあります。

このように、日々変容する女性や成長していく赤ちゃん、その家族をサポートする専門職としての助産学コースがあります。



教授
富川 孝子

精神看護学

当事者主体の ケアについて学びます

M E S S A G E

精神疾患の一つである「精神分裂病」が「統合失調症」という呼び方に変更になったのをご存知ですか？社会の偏見や無理解に苦しんできた、疾患をもつ当事者や家族の強い願いによるものです。

精神看護学では、疾患や障害をもつ当事者の気持ちを理解する方法について学びます。それは、自分の感情があるがままに認め、受け入れることから始まります。偏見かどうかは別にして、自分の考えを見つめることから始まります。今以上に自分を知り、今以上に自分を生かすことが出来るようになるでしょう。

「精神」とは何か？「心」とは何か？誰でも一度は真剣に考えることがあるでしょう。医学や看護学の範囲を超えた広い領域にわたる問題です。現代社会にはいろいろな心の問題が存在します。しかし、それら全てが心の健康問題という訳ではありません。医療・看護サービスの原点は、悩み苦しむ人が「自ら求める」ことに応えるという点にあります。自然に精神看護学の範囲も決まってくるでしょう。

精神看護学は、精神の健康と健康障害について理解するとともに、健康障害に苦しむ人が「自ら求める」ことに応えるために必要な知識・技術・態度を習得する科目です。

精神看護学の実習を行う精神病院は、人権・プライバシー・セクシュアリティを尊重する、当たり前の病院であり、入院している人だけではなく、地域社会で生活する人も活用できる各種のサービスを行っています。また、健康福祉環境事務所（保健所）や市町村では、在宅の精神障害者を地域できめ細かく支援するサービスを行っています。

老年看護学

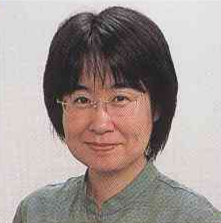
高齢者の尊厳に注目し、その人らしい 自立のあり方を学びます

老年看護学は、老年看護学I、老年看護学II、老年看護学演習、老年看護学実習の4科目から構成され、2年生後期から逐次開講されます。いずれの科目においても、一貫して高齢者の尊厳に深く注目しつつ、その人らしい自立のあり方を支援するための基礎能力を育てることを目指しています。

老年看護学Iでは高齢社会、ならびにそこに生きる高齢者やその家族の実状や問題への理解を通して、老年期の発達課題に対応した看護の進め方を、老年看護学IIでは老年期特有の生活や健康上の問題を把握し、それを解決するための看護の方法を学びます。さらに、これらの学びをより実践的かつ総合的なかたちで深められるように、老年看護学演習ならびに老年看護学実習が開講されます。

実際には、高齢者の疑似体験、ロールプレイ、グループ討論など、皆さんの感性と思考をフル回転させるような体験学習プログラムを取り入れながら展開していきます。

M E S S A G E



助教授
北川 公子

皆さんは「年をとる」ということを、自分の身に引き寄せて考えてみたことはありますか？新聞で読んだり、街の中で高齢の方を目にするのはあっても、自分のこれまでの体験からは遠く、想像もつかないことかもしれません。でも、「これまで考えもしなかったことを知っていく」ということは、何とわくわくする体験でしょう。

私たちは最初の授業で皆さんの描く高齢者イメージを尋ねます。“高齢者って例えるとどんな色？”“どんな形？”…と。高齢者について学ぶということは、今まで気づけなかった自分に出会うことにも似ています。高齢者のことを知り、そして自分のことをもっとよく知る。そのような授業の展開を私たちは目指しています。

子どもの成長・発達を促進するケアについて学びます

授業構成は、小児看護学Ⅰ・小児看護学Ⅱ・小児看護学演習・小児看護学実習から構成され、2年生後期から随時開講されます。

小児看護学では、人生の中で成長・発達が目覚ましい時期にある子どもを対象としますので、子どもの成長・発達の特徴について学びます。次に、病気や障害を持った子どもの生活、家族に及ぼす影響について理解し、事例を通じて個々の子どもや家族の状況に応じた看護援助について学びます。

小児看護学実習では、病院で子どもを受け持ち、障害児施設では障害を持つ子どもの生活を見学することにより、小児看護に必要な知識と技術を総合的に習得し、子どもや家族の個性、価値観、発達を考慮した実践能力を身に付けることを目標に展開していきます。

小児看護学

最近では、少産少子化が進み、子どもの数が減少し、子どもと接する機会が少なくなりました。また、育児不安や児童虐待、小児救急医療体制の不備など社会的な問題がクローズアップされています。“子ども”は次世代を担う輝かしい存在です。子どもたちが健全に育ち、子どもたちの夢・希望・可能性・生きる力を引き出せるように一緒に学習していきましょう。

子どもの看護で重要なことは“子どもの気持ち”に気づく感性です。自分の子どもの頃の楽しかったこと、つらかったこと、悩んだことなどを思い出してみることも必要でしょう。子どもたちとの関わりを通して、“子どもってかわいい”“小児看護って楽しい”と思えるような授業を目指しています。



助手
大久保 明子



教授
佐々木 美佐子

地域看護学

地域で暮らす人々の健康の向上を目指す看護を学びます

地域看護学は、地域看護学Ⅰ、地域看護学Ⅱ、地域看護学Ⅲ、地域看護学演習、地域看護学実習から構成され、2年次前期から随時開講されます。

地域看護学Ⅰでは地域を基盤とした看護活動の基本理念をヘルスプロモーションの視点から理解を深めます。地域看護学Ⅱでは地域集団を対象とした地区活動の方法、在宅の療養者及び家族への個別援助の方法、個人及び集団への健康教育の方法を学びます。地域看護学Ⅲはライフステージ別及び健康課題別の地域看護活動の方法を学習します。

さらにこれらの学びをより実践的にするために、事例を用いて学内演習を展開していきます。

実習は保健所・市町村保健センターの保健師活動と訪問看護ステーションの訪問看護活動に参加して、実際活動を体験します。

M E S S A G E

皆さんは普段、健康を意識することがありますか。きっと意識することは少ないと思います。私たちは、健康を害して初めて健康の大切さを実感します。それは、健康は人生の目的ではありませんが、人生を生き生きと過ごしていくための大切な資源であることを物語っています。

地域看護学はそんな「健康」を考える看護学です。健康な人がより一層健康であるための健康増進の方法と病気にならないための日常生活の方法、病気や障害があっても家族とともに暮らしたいと望む人たちの在宅療養をサポートする看護方法を学びます。

自分の健康や日常生活に振り返って考えられる授業展開にしたいと思っています。

看護研究

「専門ゼミナール」、「専門実習」、「卒論研究」で成り立っており、看護の教員によって開講される少人数ゼミナール形式の科目です。討論や実習を通して、より深く多様な視点で研究を行います。

総合科目

看護学が追求すべき現代の課題を、実践的・学際的に学んでいきます。

看護研究交流センター

本学では、保健・医療・福祉分野における、地域及び行政がかかえる課題の研究や地域支援事業の活動を通じて、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として、看護研究交流センターを設置しております。今後、看護研究交流センターの活動を通じ、県民の皆様をはじめ、関係機関・団体等とのネットワーク構築を図りながら、本学の使命である「地域文化に根ざした看護科学の研究」を進め、積極的に地域に貢献してまいります。



センター事務室

情報交換と検索の場として、インターネット検索や統計処理が可能な機器を備えています。少人数のカンファランスも可能です。



多目的室

設備に視聴覚機器を備え、研究発表会や多人数用の会議室として利用できます。準備室が付属しており大きな機器・機材の展示も可能なスペースが確保されています。

地域課題 研究事業

調査研究事業として
 ●「地域ケアの推進体制」
 ●「保健医療の情報化」
 の2テーマに関する分野についての研究を進めます。
 (現在3つの研究班を構成し研究を進めています。)

ネットワーク 構築事業

- センター報の発行等により活動状況を報告します。
- 市町村や地域関係団体等とのネットワークづくりを推進します。

生涯学習 支援事業

- 【一般公開講座】
広く県民を対象として開講します。
- 【専門講座】
看護職者を対象として開講します。
- 【出前講座】
大学の特色を生かして本学教員が地域に出向いて開講します。

図書館

大学の図書館は、看護に関する資料を中心に所蔵しています。このような図書や資料を活用したい方はどなたでも利用できます。看護に関することで調べたいことがある場合など、ぜひ出掛けてみてください。

- ・開館時間 月曜日～金曜日 9:00～20:30
土曜日 9:30～16:30
- ・休館日 日曜日や大学の休業日は休館しています。事前に電話で確認してください。
- ・サービス 貸し出しや必要に応じて複写できます。詳しくは、図書館職員にお聞きください。



図書館

採光のよくとれたゆったりとしたフロアは2階構造で、教育・研究に必要な図書や雑誌、視聴覚資料などが豊富に揃えてあります。閲覧席は1階が81席、2階は32席で、他にAV室も設置され教材もより充実しています。



CAMPUS LIFE

Q & A



こんなコト、あんなコト、期待も不安も学生生活の新しい環境にはつきもの。答えます、あなたの質問に。(みなさんからいただいた質問のうち、数の多かった質問について、掲載しました。)

Q 入学料、授業料はいくらですか？

A 入学料は、新潟県の住民 28 万 2 千円、新潟県以外の住民 56 万 4 千円となっています。授業料は平成 15 年 7 月現在、52 万 8 百円と規定されていますが、今後改定された場合、改定された額を適用します。

Q 奨学金制度はありますか？

A 奨学金制度には日本育英会奨学金、その他地方公共団体等によるものがあります。ただし、採用条件を備えていても奨学金採用数が限られているため、必ずしも希望者全員が採用されるとは限りません。手続きの方法や詳細については、事務局にご相談下さい。

Q 教員の陣容はどのようになっていますか？

A 本学は、学問としての看護科学を学び、実践的能力、コミュニケーション・コーディネート能力や生涯学習能力を備えた「専門的職業人」を育成します。これらの特色あるカリキュラムを実施するため、専任教員を 58 名配置する予定としており、15 年度は 50 名が着任しました。なお、58 名のうち看護系の教員は 47 名となっており、専門教育に力を入れております。

Q 授業についていけるか不安です。大丈夫でしょうか…？

A 初めて学ぶことばかりで、誰でも不安に思うかも知れません。でも心配はありません。本学では、皆さんが必要とする技術や知識がしっかりと習得できるように、各専門分野ごとに優れた先生方がわかりやすく授業を進めていきますので、安心して勉学に励んでください。また、わからないことや疑問点があったら、積極的に尋ねて下さい。わかりやすくお答えします。

Q 学生寮はありますか？

A 学生寮はありません。希望する学生にはアパート情報を提供します。希望する方は気軽にご相談下さい。大学の近くに近年多くのアパートが建築されました。

Q 生活や学習について悩みがあった場合、相談に乗ってくれるところがありますか？

A 各学年に担任教員を配置しています。また、各教員はオフィス・アワーを設け、授業についての質問や学業に関する相談に乗れる体制を整えています。

Q アルバイトをしたいけれど、できるんですか？ アルバイト情報はあるのですか？

A 学生時代はいろいろな経験をするのも大切な勉強です。学生としてふさわしいアルバイト情報を掲示板等で提供します。

Q 実習施設にはどんなものがありますか？

A 大学の隣に位置する地域拠点病院の新潟県立中央病院(病床数 528)をメインに病院実習を行います。その他、保健所や市町村、保育園、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなど、様々な実習施設が確保されています。

Q 特別選択の小論文と面接について

A 小論文については、英文資料の読解を含み、90 分の試験時間です。内容は、分析能力、感受性、英文内容把握能力などを評価するものとなっています。グループ面接の方法は試験時に指示されます。

Q 編入学について

A 3 年次編入(定員 10 名)を平成 17 年度から開始します。看護系短期大学を卒業した者が一定の臨床経験のある看護系専門学校(専修学校専門課程)の卒業者を対象として予定しています。

卒業後の進路

高齢化社会の進展や介護保険制度の施行などにより、医療・保健・福祉の連携が重視されるようになり、看護職のニーズは、病院以外の福祉施設や地域、家庭へと拡大しています。

卒業時に取得できる資格

看護師
国家試験受験資格

保健師
国家試験受験資格

養護教諭
2 種免許※1

助産師
国家試験受験資格※2

●病院

患者さんの病気の回復を助けます。

●保育所

子供の健康と成長を守ります。

●大学院進学

専門職としての研究方法を学び、CNSや大学の教員として活躍します。

●企業内の健康管理室

働く人々の健康管理をします。

●海外での看護活動

JICA(国際協力事業団)や青年海外協力隊などの活動に参画します。

●小・中・高校保健室

生徒の健康管理や相談に応じます。

●研究所

最先端の看護の研究を進める他、企業の製品開発の研究に参画します。

●訪問看護ステーション

自宅で療養している患者さんへケアをします。

●看護の教育機関

看護学生の教育・指導にあたります。

●老人保健施設・特別養護老人ホーム

病気をもち施設で暮らしている高齢者の日常生活を支えます。

●保健所・市町村

地域の人々の健康管理や相談に応じます。

●診療所

地域の人々の病気の回復を助けます。

※1 保健師国家試験合格後、申請により授与されます。

※2 助産学科目を履修した場合に限ります。

スタート地点は上越市。

充実したキャンパスライフの拠点、上越市。豊かな自然に恵まれた新潟県西部の商工業都市です。春日山城下町、高田城下町として長い歴史と文化が引き継がれています。また快適な都市機能を持ち陸路・海路ともに交通の要衝ともなっています。



至新潟
高田駅周辺
高田駅前通りとそれに交差する本町通りは上越市の中心商業地として賑わっている。



高田城(三重櫓)
慶長19年(1614)、松平忠輝の居城として築かれた。現在高田公園となり、桜の名所として知られ多くの観光客が訪れる。



平成 16 年度入学者選抜概要

1. 募集人員

入学定員	特別選抜		一般選抜	
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期
90名	30名	若干名	50名	10名

※特別選抜一般推薦の募集人数には衛生看護科推薦の2名を含む。
 ※一般選抜前期試験の募集人員には社会人特別選抜の若干名を含む。

2. 個別試験科目

区分	特別選抜		一般選抜	
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期
個別試験科目	小論文(英文資料の読解を含む)グループ面接		小論文グループ面接	
試験会場	新潟県立看護大学			
出願期間	H.15 11/4～11/13		H.16 1/26～2/4	
試験期日	H.15 11/30		H.16 2/25	H.16 3/12
合格発表	H.15 12/5		H.16 3/8	H.16 3/22

一般選抜に出願する方は、平成16年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験する必要があります。

3. 一般選抜の方法

- 平成16年度大学入学者選抜大学入試センター試験で本学が入学志願者に解答させる教科・科目を受験した者としてします。
- 前期試験、後期試験の両方に出願できます。ただし、出願手続きは平成16年1月26日から2月4日までの間に行う必要があります。
- 本学の個別学力検査等の科目は、小論文とグループ面接です。
- 前期試験、後期試験とも試験会場は、新潟県立看護大学で実施します。

4. 特別選抜の方法

A. 一般推薦(衛生看護科推薦を除く)

- 出願資格
 - 次のいずれにも該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者としてします。
 - 新潟県内の高等学校を平成16年3月卒業見込みの者
 - 調査書の全体の評定平均点が4.0以上の者
 - 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
 - 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- 推薦人数
 - 1高等学校当たりの推薦人数については、3名以内とします。
- 選抜方法
 - 小論文(英文資料の読解を含む)、グループ面接、調査書を総合的に評価し、選抜します。

B. 一般推薦(衛生看護科推薦のみ)

- 出願資格
 - 次のいずれにも該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者

としてします。

- 新潟県内の高等学校(衛生看護科)を平成16年3月卒業見込みの者
 - 調査書の全体の評定平均点が所属する学科において成績上位5%以内の者
 - 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
 - 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- 推薦人数
 - 1高校の衛生看護科について推薦できる人数は2名とします。
 - 選抜方法
 - 小論文(英文資料の読解を含む)、グループ面接、調査書を総合的に評価し、選抜します。

C. 社会人特別選抜

- 出願資格
 - 次のいずれにも該当する者としてします。
 - 大学入学資格を有する者
 - 平成16年4月1日時点で、社会人の経験を3年以上(夜間・定時制・通信教育以外の学校、専修学校及び各種学校に在籍していた期間を除く。)有する者
 - 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
- 選抜方法
 - 小論文(英文資料の読解を含む)、グループ面接、調査書及び自己推薦書を総合的に評価し、選抜します。

5. 募集要項の請求の方法

返信用封筒(請求者の住所・氏名を明記した角形2号の封筒)に、必要とする募集要項の種類(「一般選抜募集要項」又は「特別選抜募集要項」あるいは「一般選抜募集要項・特別選抜募集要項」)を朱書きし、必要な金額の切手(いずれか一方の場合270円、両方の場合390円)を貼付して、新潟県立看護大学教務学生課に申し込んでください。8月上旬より配布を予定しています。出願締切を充分考慮して、早めに申し込んでください。

- 郵便局での請求
 - 全国の郵便局に設置されている「全国 国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」(入学願書ゆうパックカタログ)に必要な事項を記載の上、郵送料と払込み手数料(70円)を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。
- 電話(テレメール)での請求(24時間対応)
 - 最寄りの地区に電話し、音声ガイダンスに従って操作してください。
 - (東京) 03-3222-0102 (名古屋) 052-222-0203
 - (大阪) 06-6222-0102 (福岡) 092-433-0102

資料名	資料番号
一般選抜+大学案内	548850
大学案内	568750

- ホームページからの請求
 - 新潟県立看護大学のホームページから直接請求できます。
 - 詳しくは、E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp へご連絡ください。
 - ※上記(1)(2)での請求方法についてのお問い合わせ先 全国学校案内資料管理事務センター
 - 06-6231-5992(月～金9:00～18:00)



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

住所 新潟県上越市新南町240番地
 問い合わせ先 ☎943-0147 新潟県上越市新南町240番地
 新潟県立看護大学 教務学生課
 TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815
 URL <http://www.niigata-cn.ac.jp>
 E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp